

※日本国際政治学会の会員のみなさまに関連のある箇所のみ抜粋です。(広報委員会)

=====
** 日本学術会議ニュース・メール ** No. 840 ** 2023/5/12
=====

● 【開催案内】公開研究会「民主主義の揺らぎと〈法の支配〉」

■ -----
【開催案内】公開研究会「民主主義の揺らぎと〈法の支配〉」
----- ■

【主催】 日本学術会議政治学委員会比較政治分科会、日本比較政治学会

【日時】 2023年6月17日(土)15:30～17:30

【場所】 山梨大学甲府キャンパスY号館

【参加費】 無料

【事前申込み】 不要

【開催趣旨】 政治学者のあいだで民主主義の揺らぎ、危機、後退が深刻な憂慮をもって議論されるようになって久しい。実際、さまざまな研究調査機関が公表している指標からも明らかなどおり、自由民主主義の危機は現実のものとなっている。問題となっている多くの国では、定期的な選挙実施や憲法に規定された手続きなど、民主主義のルールは形式的には維持されているものの、選挙に勝利を収めた与党に主導されるかたちでその本来の機能や意味が大きく失われてしまっている。いわゆる先進民主主義国もそういった危機から決して無縁ではないことは、米国におけるトランプ時代の例がよく示している。

こうした近年の「民主主義の危機」において、一つの大きな焦点を成しているのは、一般に自由民主主義の本質的構成要素とされる「法の支配」あるいは法治国家原則である。たとえば、米国では「民主主義の危機」が司法の政治化と手を携えつつ展開を見せているし、民主主義と法治国家を政治原則として明確に謳っているEUの加盟国であるポーランドとハンガリーにおいて法治国家の融解がすでに大きく進み、問題化している。

この公開研究会は、民主主義の後退がこの間指摘されている中東欧、米国、そして中南米の専門家から、それぞれの国・地域における民主主義の揺らぎと「法の支配」のあり様についての報告を受け、「民主主義の揺らぎ」がいかにかき起されるのか、そこではどのような兆候が見られるのか、これに対して何をなすべきかというアクチュアルかつ比較政治学においてもきわめて重要な問題について、「法の支配」と民主主義の関係から議論を深めようとするものである。

【プログラム】 <https://www.scj.go.jp/ja/event/2023/340-s-0617.html>

【問い合わせ先】 大阪公立大学・野田昌吾

メールアドレス: noda@omu.ac.jp

日本学術会議 YouTube チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCV49_ycWmnfhNV2jgePY4Cw

日本学術会議公式 Twitter

https://twitter.com/scj_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<https://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行: 日本学術会議事務局 <https://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34